

瀬戸市の取組状況

1 セト・まるっとミュージアムの推進

瀬戸市全域の魅力ある観光資源を活用した総合的なまちづくりを進めるなかで、イベント等の開催を通じてリニモ沿線を含めた地域全体の賑わいと交流を創出しています。

令和4年度主な開催事業

名 称	開催(予定)日	入込客数 (R4 年度実績)	入込客数 (R3 年度実績)
せと陶祖まつり	令和4年4月16日(土)、17日(日)	25,000人	11,000人
せともの祭	令和4年9月10日(土)、11日(日)	340,000人	令和3年度中止
来る福招き猫まつり in 瀬戸	令和4年9月24日(土)、25日(日)	40,000人	令和3年度中止
せと・まるっとミュージアム大回遊	令和4年11月12日(土)、13日(日)	未確定	3,000人
陶のまち瀬戸のお雛めぐり	令和5年1月28日(土)～3月5日(日)	-	50,000人
デジタルまつり	令和4年11月13日(日)	1,300人	1,900人
合 計		406,300人	65,900人

2 愛・パークの活用

愛・地球博の理念「自然の叡智」を未来へ繋げるため「愛・パーク」を活用し、毎月第3日曜日に市民団体によるイベントを実施することで公園の利用促進と賑わいの創出を図っています。(令和3年度の利用者数 39,380人)

3 デジタルまつり 2022

2003年12月に送信が開始された地上デジタル放送の通信・放送融合を契機に地域産業の発展に繋がる取組みを推進する「瀬戸市デジタルリサーチパークセンター」において、施設を広く市民の方に親しんでいただくデジタルまつりを開催しています。また、「リニモ秋色ウォーキング」との同時開催によりリニモの利用促進を図っています。

4 コミュニティバスの運行

八草駅と市内中心市街地方面間の移動手段として瀬戸市コミュニティバス上之山線を運行しています。新型コロナウイルス感染拡大により利用者が減少していますが、市民の生活の足として、リニモ沿線や瀬戸市内イベント時の移動手段として運行を維持し、ホームページやGTFSでの情報提供等運行の周知啓発を図るなど沿線地域住民の要望等を考慮して利用者数の回復を目指します。

運行経路：八草駅～愛・パーク～サンヒル上之山～山口駅～瀬戸口駅～尾張瀬戸駅
運行便数：上り7便/日、下り8便/日

上之山線利用者数

年度	路線全体の利用者数	八草駅の利用者数
令和元年度	31,180人	4,282人
令和2年年度	23,198人	2,646人
令和3年年度	23,917人	2,162人

